令和 7年 2月 3日

守谷市議会議長 殿

委員長：堤 茂信 印

報告者：実好敏正 印

保健福祉常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	令和7年1月29日（水）	
視察・研修場所	山陽小野田市役所	
視察・研修項目	子育て関連諸制度について	
参加者	守谷市側	堤委員長、菊地副委員長、梅木委員、高梨(恭)委員、小菅委員、実好委員、寺田議長、石塚こども未来部長、事務局恩田
	相手側	石田議会事務局局長、河口議会事務局参事、子育て支援課野村課長、子育て支援課藤田課長補佐
視察・研修目的	山陽小野田市が実施する「子育て支援施策」について	
視察・研修内容	山陽小野田市の子育て支援施策 【経済的支援】 ・「入学祝金給付事業」小中学校に入学する子どもの保護者に対して児童一人につき5万円を給付 ・「子ども医療費助成事業」小学一年生から中学三年生までの保険適用医療費の自己負担（3割負担）を助成。令和5年8月から所得制限を撤廃	

	<p>【施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育て総合支援センター（スマイルキッズ）」子育て世代の誰もが立ち寄れる、総合的な子育て支援がワンストップで行える拠点施設 実績：R6 年度 年間一万人の利用者 ・「病児保育」子どもの急な病気や病気からの回復期などで、集団保育が困難な時の保育を一時的に医療機関等で行う。 実績：R6 年度 利用者 695 人 ・「子育て短期支援」保護者が病気や環境的な理由などで、一時的に子どもを家庭で育てることが難しくなった場合や、夫からの暴力などで母子が緊急に保護を必要とする場合などに、児童養護施設などで一定期間、子どもの養育・保護を行う 実績：R6 年度 ショートステイ利用数 7 人 延べ利用日数 51 日 トワイライトステイ利用数 1 人 延べ利用日数 1 日 0 歳～1 歳の利用が多い、保護者のレスパイト、入院、仕事 <p>また「子育て短期支援」では令和 3 年度から里親と委託契約が可能になり、年度途中でも随意契約を行っている。</p>
<p>視察・研修総括 (今後の取組み等)</p>	<p>今回の山陽小野田市における子育て支援施策は、行政と地域が連携しながら多面的に子育て家庭を支えようとする姿勢が印象的であった。特に、経済的支援として実施されている「入学祝金給付事業」や「子ども医療費助成事業」、そしてワンストップで多様なサポートを行う「子育て総合支援センター（スマイルキッズ）」などは、保護者にとって大きな安心材料となる。また、「病児保育」や「子育て短期支援」の利用実績からはニーズが高いことが伺えた。</p> <p>守谷市においても、既存制度のさらなる周知・拡充や新規施策の検討を通じて、子育て環境をより充実させるきっかけとしたい。</p>